

## 施設使用料年度間比較

当日資料 2

### (令和4年度予算)

本来の使用料  
950百万円(A)

維持管理費等460	企業債償還250	人件費240
-----------	----------	--------

減免後使用料  
744百万円(a)

減免後使用料744	減免額206
-----------	--------

(減免額算式)	
乗車料収入計画額	1,570百万円
〃 予算額	1,364百万円
減免額	206百万円

### (令和5年度予算)

本来の使用料  
847百万円(B)

維持管理費等419	企業債償還251	人件費177
-----------	----------	--------

減免後使用料  
622百万円(b)

減免後使用料622	減免額225
-----------	--------

(減免額算式)	
乗車料収入計画額	1,582百万円
〃 予算額	1,357百万円
減免額	225百万円

令和4年度と令和5年度の減免後の施設使用料の差122百万円(a-b)は、本来の使用料(減免しない場合)の差103百万円(A-B※)が主要因であり、減免額の差(5年度の方が多)については19百万円(225百万-206百万)である。

なお、各年度の減免額は、各年度の現経営計画上の乗車料収入額と予算上の乗車料収入との差額であり、実際に収入が増えた分については、施設使用料は増額(減免額は減少)となる。

※ 維持管理費等▲41百万円減の主な理由：起債対象外建設改良費の減▲24百万円、廃車費用の減▲19百万円  
人件費▲63百万円減の主な理由：退職金の減▲49百万円、給与等の減▲15百万円